

伊勢丹写真室

結婚記念日と贈り物

1年目	紙婚式	紙製品、本、日記帳、アルバム
2年目	綿婚式 藁婚式	木綿のハンカチーフ、エプロン、テーブルクロスなど木綿製品
3年目	革婚式 菓婚式	バック、ベルト、財布など皮革製品
4年目	花婚式 書籍婚式	花束、花柄の食器 書籍類、料理の本など
5年目	木婚式	木製品、漆器類、観葉植物
6年目	鉄婚式	鉄製品、ペンダント、カフス、フライパン、鍋
7年目	銅婚式	銅製品、銅食器、毛織物
8年目	青銅婚式 電気器具婚式 ゴム婚式	家電製品
9年目	陶器婚式	コーヒーカップ、花瓶、茶碗
10年目	錫婚式 アルミニウム婚式	錫製品、ワイングラス、装飾品 アルミニウム製品

11年目	銅鉄婚式	銅鉄製品、ステンレス製品、キッチン用品
12年目	絹婚式	スカーフ、ネクタイ、ブラウス、絹・麻製品
13年目	レース婚式	ショール、テーブルクロス、ハンカチ、レース品
14年目	象牙婚式	象牙製品、象牙を模したアクセサリー、象牙色の小物
15年目	水晶婚式	クリスタル製品、アクセサリー、グラス、指輪
20年目	磁器婚式	コーヒーカップ、食器、置物、陶磁器製品
25年目	銀婚式	スプーン、銀食器、アクセサリー、銀製品、時計
30年目	真珠婚式	指輪、ネクタイピン、アクセサリー類、装飾品、真珠製品
35年目	珊瑚婚式 ヒスイ婚式	珊瑚やヒスイを使ったアクセサリー、装飾品
40年目	ルビー婚式	指輪、装飾品
45年目	サファイア婚式	指輪、装飾品
50年目	金婚式	指輪、ネックレス、アクセサリー、装飾品、金製品
55年目	エメラルド婚式	指輪、装飾品
60年目 ・ 75年目	ダイヤモンド婚式	指輪、装飾品

長寿のお祝い

還暦	60歳	<p>生まれた年の干支は正確には六十一年目に巡ってきます。</p> <p>干支は十干(甲、乙、丙、丁～10種類)、十二支(子、丑、寅、卯～12種類)の組み合わせでいくと六十種類あり、一回りするのに六十年かかるわけです。そして数え61歳(満60歳)で生まれた干支にかえるので還暦と言うようになりました。</p> <p>本卦(ほんけ)がえりとも呼びます。お祝いに赤いちゃんちゃんこや頭巾、座布団などを贈るのは、赤ちゃんにかえるという意味なのです。</p> <p>現代では年より扱いする年齢でもなく、これからも生まれ変わったように気持ちも新たにがんばってくださいという意味でしょうか。</p>
古稀	70歳	<p>中国最高の詩人であり、松尾芭蕉にも大きな影響を与えた、杜甫が書いた詩で「曲江の詩」のなかにある「人生七十古来稀」からきており、七十年はなかなか生きられないという意味です。むかしの平均寿命からいくとそうだったのでしょう。</p>
喜寿	77歳	<p>現代において本当の意味で長寿の祝いと言えるのはここからでしょうか。</p> <p>喜という字を草書体や崩し字では七を3つ重ねたように書き、七十七に似ています。「喜の字の祝い」とも呼ばれています。</p>
傘寿	80歳	<p>傘の略字が八十と読める事から、この名がつけました。</p>
米寿	88歳	<p>米の字を分解すると八十八となることからこう呼ばれています。</p> <p>末広がりの八が重なり、さらに古来より米を大切にしている日本人の観念から、たいへんおめでたいとされています。</p>
卒寿	90歳	<p>卒の略字が「卒」となり九十と読める事からこう呼ばれています。</p> <p>「鳩寿」とも呼ぶところもあり、鳩の字に九があり、「キュウ」と読むところからきています。</p>
白寿	99歳	<p>白の字に一を加えると百になり、あと一歳で百歳になることからこう呼ばれています。</p> <p>あと一年、さらに長寿をという願いが込められています。</p>
100歳	100歳以上	<p>100歳以上は百賀(ももが)と呼ばれます。他にも紀寿、上寿とも呼びます。「紀」は一世紀の紀です。</p> <p>「上」はまさに一番上の上です。101歳になれば「百一賀の祝い」といい、以後は一年ごと貴重なので毎年お祝いしてあげましょう。</p> <p>さらに108歳は「茶寿」111歳は「皇寿」と呼ばれています。</p>